

Weekly Report of Inuyama



犬山ロータリークラブ

INUYAMA R.C.



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
国際ロータリー2021~2022年度テーマ

Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会長：高橋 秀治
■幹事：藤井 友喜
■会報委員長：鈴木 敏之

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U RL／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山1-4 犬山カンツリー倶楽部
電話／0568-61-2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2874回 例会 (R4. 4. 5 火 晴れ★)

点 鐘 高橋 秀治会長

R . S 君が代 奉仕の理想 四つのテスト

ビジター ☆米山奨学生 黄 夢婷(コウ ムテイ) さん

1) 会報受信クラブ 瀬戸 瀬戸北

祝 福 (山田直廣副委員長)

おめでとうございます!!

会員誕生日 加藤 浩一君 4月10日

会員誕生日 井川 光雄君 4月11日

※近隣クラブはコロナ禍により、ほぼメーキャップ受付を
されておられません

☆第2回クラブ戦略委員会ご案内

日時：4月11日(月) 14：00～

場所：日本紙工業(株) (犬山市羽黒)

*本日対象委員の皆さんにご案内配布
ご出席宜しくお願い致します

☆名古屋大学特定基金

青色 LED・未来材料研究支援事業 ご支援のお願い

*瀬戸北 RC を通じて寄付のお願い

☆「ヒューストン国際ゴルフ in JAPAN」=

～コロナゼロ・カーボンゼロチャリティゴルフコンペ～

1日目 女子プロとのラウンドゴルフ

日時：5月17日(火) 7：46スタート 20組

場所：新南愛知カンツリークラブ

会費：30,000円 *プレー代は各自支払

対象：第2760地区内 全会員

2日目 チャリティゴルフコンペ

日時：5月18日(水) 7：46スタート 40組

場所：新南愛知カンツリークラブ

会費：8,000円 *プレー代は各自支払

対象：第2760地区内 全会員

☆「ヒューストンガバナーナイト in JAPAN」=

日時：5月31日(火)

開会 18：30/アトラクション 19：00～

場所：名古屋東急ホテル

会費：10,000円

対象：第2760地区内 全会員

☆名鉄「Wind」冊子

今月4月より配布の停止との連絡有

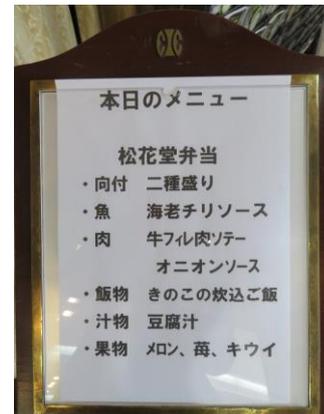
出席報告 (宇佐美芳樹委員長)

出席率 100% 会員 52名 (*出席率は紙面での報告のみ)



☆☆ 誕生日 おめでとうございます! ☆☆☆

＝本日のお食事＝



ニコボックス (岩間信夫委員長)

高橋秀治君 3年ぶりに犬山祭が開催され、大いに賑
わいを感じた日々でした。
本日は犬山祭に関する卓話 板津さん、宜
しく申し上げます。

(同文にて) 加藤浩一君 藤井友喜君 保浦博志君
板津英基君 私の拙い話に耳を傾けていただけたら幸
いです

朱宮新治君 孫が京都大学工学部に入学できましたこ
とを喜んで

福富孝弘君 板津英基さんの卓話「犬山祭の裏話」を拝聴できることを喜んで！
楽しみにしています！

(同文にて) 原正男君 日比野良太郎君 井川光雄君
稲垣圭次君 伊藤正久君 伊藤隆君
岩間信夫君 河田敏和君 兒玉寿君
近藤斉宏君 牧野武彦君 真野健二君
松山基邦君 野村憲治君 小川宏嗣君
小川嘉吉君 小川誠君 小川征一君
岡田雅隆君 奥村正幸君 大島匡博君
関矢正己君 千田光範君 朱宮新治君
住野龍之介君 鈴木一成君 鈴木敏之君
山田直廣君 山根雄司君 安田一生君
安田新平君 吉田洋君



会長挨拶 (高橋 秀治 会長)



皆様こんにちは！先ずはお客様をご紹介致します。
米山奨学生の黄 夢婷さん。

本日は季語としてはちょっとずれてしまいますけれども、正に春うらかな日和となりました。例会は止めて、すぐにでもコースに飛び出したい様な気持ちでございます。お陰様で桜も大変綺麗に咲いておりまして、今年は長持ちしそうな感じでございます。

土日と犬山祭が開催されました。今年はまあハーフ開催と言いますか、いつもとは違った時間割での開催となりました。昔は13町内に車山がありまして、その内の9町内ぐらいは1週間前にみんな集まって、一生懸命道路で車山を組んで、そしてシートを被せてお祭り気分を盛り上げると言うようなことでありましたが、現在となりましては、私の住んでいる外町のみが毎回車山を組んで、毎回壊してしまうと言うことを町内の決まりでやっております。今年は土曜日当日の朝7時に集合致しまして、パッと組んで昼に出発するという計画で、大丈夫かなあと心配でしたが、何とか大変でしたけれども間に合いました。また土曜日の夜は雨が降りまして、提灯はちょっと濡れると1個4,000円ぐらいする物ですから慌てて町内へ戻ると言うような事がありまして、そして日曜日の朝、提灯出しっ放しで、吊ったままにして朝片付けしようと言うことで、またこれも1時間繰り上げて片付けをして、出発の準備を致しましたところ、雨で中止と言うことで、各町内それぞれ、ご町内のからくりと千秋楽を納められまして終わりと言うことでございました。ハーフのハーフという開催でございましたが、クォーター開催と言いますか、それでも丸3年ぶりの開催でございまして、やは

り、車山に触る、車山を動かす、そしてお囃子を聴くと言うことは非常に我々市民にとっては大変気分の良い春だと言うような事を実感した次第でございます。

本日はタイミング良く我ら会員の板津さん、余坂町になりますけれども、板津さんの「お祭りの裏話」と言うことでこの後卓話がございます。大変私も裏の裏が知りたいものですから、楽しみにしておりますのでどうぞ、宜しく申し上げまして会長の挨拶に代えさせて頂きます。本日もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ロータリー米山奨学生 (黄 夢婷さん)



奨学金 (4 月分) を授与しました

◇黄 夢婷さんご挨拶



こんにちは！先月久しぶりにUSJに行きました。

コロナの前は、ハリーポッターが好きで毎年年間パスポートを買って友達とよく行きましたが、コロナの後は全く行けなくて。後、友達も卒業して帰国したりした人が多いから、コロナの後で知り合った人は、そんなに喋ったことがないから、USJに行ったら、待つ時間長いから絶対話無くなるから気まずいかなあとと思って、誘われても断ったことが多いですね。今回は一応同じ寮の人が卒業するから、彼女もコロナの後に来て、ずっと行きたいところが行けないから、最後の思い出の為に一緒に行ったんです。久しぶりに魔法の世界に入って凄く嬉しいと思いました。

以上です。ありがとうございました。



その他委員会報告

◎社会奉仕委員会 (兒玉 寿委員長)

＝春の交通安全県民運動に伴う

シートベルト・チャイルドシート関所のご案内＝

日時：4月16日(木)9:30～

場所：犬山市民文化会館 第1駐車場

*皆様のご参加、宜しくお願い致します

◎職業奉仕委員会（安田 一生 S.A.A.）

職業奉仕担当例会（早朝例会：成田山）について

日時；2022年4月26日（火）

内容；7：00 本堂にてご祈祷（希望者のみ）

7：40 例会開会（法話）

8：40 例会閉会

◎次年度副幹事（安田 一生君）

・22-23年度合同委員会

日時：4月5日（火）本日例会終了後13：40～

※全会員対象

例会後、会場準備の為10分程度会場外にてお待ち下さい。席次は委員会毎となります。

・22-23年度地区研修・協議会

日時：4月17日（日）

昼食11：30～12：45／会議13：00～16：30

場所：名古屋国際会議場



会員卓話 宇佐美芳樹プログラム・出席委員長

☆板津 英基 君

『犬山祭の裏話』



先日の大縣神社での例会の折、高橋会長より「犬山祭の裏側を話せ」との、命令がありました。「犬山祭の裏側なら会長の方が詳しくでしょう」とお断りをしたところ、そのような話は年寄りの仕事と寄り切られ、ここに立つ羽目となりました。犬山祭の裏話と云っても、暗い世界、怖い世界があり、それを暴露すると云う話ではありません。犬山祭には、決してそのような世界は有りません。

犬山祭は、2006年に国の重要無形民俗文化財に指定され、2016年のユネスコ無形文化遺産への登録の影響か、最近では、近在の人ばかりでなく全国から来訪された皆さんに楽しんで頂いている事は、ご存じのとおりです。もちろん犬山市の観光行政、小川さんの観光協会のご努力が大なる事は云うまでもございません。

さて祭りでは、優雅なお囃子にのって荘厳に巡行する車山、ときには豪快に行われる「どんでん」「車切り」を。また夜になれば、300近い灯された提灯が山の動きにつれ揺れる様に、訪れた多くの方々に深い感動をして頂いていると思います。しかし、車山が優雅・荘厳に巡行する裏には、車山のある町内人々は、巡行をスムーズに行うために、あちらへ走り、こちらに走り、と大わらわな二日間を、いや一年間を過ごします。

ここで、観光で祭を見に来る方々には決して見ることがない、私たち車山のある町内の中での行事、しきたり、慣習の一部を紹介させていただきたいと思いません。

犬山祭は針綱神社の例大祭です。そこで針綱神社と犬山祭の歴史を簡単に振返っておきます。

◎針綱神社の変遷

現城山から織田信長の叔父、織田信康が築城の為天文6年（1537）8月28日に白山平に遷座させた。その後、慶長11年（1606）小笠原吉次により、総構の構築のため、名栗町へ遷座させた。名栗の地に276年の長きに針綱神社は祀られていたが、明治15年（1882）10月1日に現在地に遷座。実に345年ぶり元の地にお戻りになったことになる。この遷座の行列にはは、時の犬山の有力者270名近く参加、それは壮観であったことが棟札から読み取れる。

◎祭の始まり

寛永12年（1635）

枝町・魚屋町・下本町

8月27日試楽・28日本楽で始まる。

慶安2年（1649）

鶴飼町・中本町・熊野町・中切村・内田村

慶安3年（1650）正虎公による厳しい奨励

本町・練屋町

慶安4年（1651）

鍛冶屋町

延宝2年（1674）

名栗町・寺内町・余坂村・外町の参加ですべての町内が揃う

現在でも祭の本楽の巡行はこの最初に参加した順番によっている。

◎寛政7年（1795）

寛政絵巻 尾関作十郎家・村上家蔵

尾張藩寺社奉行に提出

詳細に祭の行粧の様子が描かれており、当時の祭の様子を知る上での、貴重な資料である

それでは現代に戻ります。

◎針綱神社で行われる神事

この神事は、神社庁よりの献幣使をお迎えし、国家安穩・氏子の安全と幸せを神にお願いする重要な儀式であり、この儀式そのものが本来の祭である。今年も献幣使は牧野さんに勤めて頂きました。

この神事は、車山のある町内の人間でもほとんど見ることが出来ません。

◎神輿渡御

神事の後、神様は御神輿にお移りになり、白丁・白丁烏帽子姿の初老の役を迎えた人に担がれ、袂・一文字傘姿に杖を手にした還暦の人の警護により各町内を廻り、小島町の御旅所へ向かう。此の神輿渡御を賑やかすため各町内が練り物、車山を出したのが犬山祭である。

各町内では

